

12 みどりのまち親愛 事業報告（平成29年度）

1 経営方針に関わる概要

法人理念である「生きるを支える」を具現化するためユニットにおいては、ユニットケアの本質である「尊厳を大事にするケア」を日常業務の課題とし、家族・入居者の要望に応えるべく、懇切・丁寧さらに高度な介護技術・知識を持って良質なサービスの提供を心掛けた。また業務システムのルール化や医療看護と介護現場との連携を図りながら、効率的で効果的な施設運営を目的に取り組んだ。

地域における公益的な取り組みとして、福原地区福祉ネットワークへ参加し、6月30日にみどりのまち親愛を会場として市民公開講座を開催した。（セラヴィ今福と共催、参加者30名）

12月から年度末にかけ、職員の退職が相次ぐ中、補充が追いつかず、新規利用者の受け入れの遅れ、職員研修参加率の低下等の影響があった。

加算についてはデイサービスセンターにて、10月から「若年性認知症加算」の算定を開始し、2月からは、職員1名が認知症介護実践研修を終了したため「認知症加算」に変更し算定を開始した。

(1) [施設の基本目標]

法人理念に加えて施設の目標を「社会・地域貢献」とし、施設内研修等を利用し全職員に周知した。目標達成のための具体的な形として、施設が提供する福祉サービス（介護）は常に入居者本位であり良質であること、常に入居者にとって良い状態を求め続けることを共通認識として取り組んだ。

(2) [入居者]

入居者は3年目を迎え認知度の低下や精神的不安から精神科への受診が急増した。介護度3の利用者が減少し、介護度5の利用者が増加した理由として認知度の低下によるところが上げられる。

新規入所者のうち6名が、短期入所利用からの入所利用となった。

(3) [設備面]

建物の修理については、引き続き壁・引き戸・棚・脱衣室の排水・手摺未設置等に不具合が認められたため竹並建設、共同建築設計に修理を依頼した。修理箇所を一覧表にして伝えてきたが、予定通り進んでいない状況である。

二年次点検についても、外壁検査が未実施のまま翌年度持ち越しとなった。

(4) [保健衛生面]

入居者の心身情報の収集と早期対応、嘱託医と往診医との連携、家族との連携相談を看護師・生活相談員が窓口となり対応した。入院者数は今年度も昨年度とほぼ同数であった。年間の入院者は述べ76名、その内4名が長期入院を理由に退居となった。その他17名が入院先で亡くなられた。延べ入院期間は1,082日であった。

職員研修として、酸素、救急・感染症対応他を実施し、知識の習得に努めた。

インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の入居者の発症を今年もゼロに抑えることができた。予防接種やユニット内の加湿、職員、来所者の入館時の手洗い、うがいの徹底等が奏功したと思われる。

11月、2日間に渡って職員・入居者健康診断を外部委託にて実施した。移動による入居

者の身体的負担の軽減、さらに職員介護も非常に効率的に行なえた。

月別入院者数（名）と入院日数（日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
入院者数	7	7	7	5	7	5	8	8	8	8	3	3	76	6.3
延入院日数	100	108	72	76	86	84	84	134	140	132	43	23	1,082	90.2

※28年度とほぼ同数であった。

2 入居者状況

(1) 入退居状況と稼働率

平成 29 年 3 月 31 日現在の在籍者数 89 名

月	入居者数	退居者数	月末在籍者数	述べ利用日数	稼働率 (%)
4月	2	1	90	2,675	99.1
5月	1	4	90	2,781	99.7
6月	0	2	88	2,684	99.4
7月	4	2	90	2,783	99.7
8月	0	0	90	2,790	100
9月	0	1	89	2,697	99.9
10月	3	3	89	2,738	98.1
11月	1	1	89	2,669	98.9
12月	2	3	88	2,739	98.2
1月	1	5	84	2,675	95.9
2月	1	0	85	2,376	94.3
3月	2	2	85	2,602	93.3
合計	17	24		32,209	
平均			88.2		95

※入居者数内訳：女性 15 名、男性 2 名

退居者数内訳：女性 10 名、男性 11 名

(2) 退居の理由（名）

退居理由	人数
病院内で死亡	17
長期入院	4
介護度が 2 以下に判定	0
他施設へ移動	0
合計	21

(3) 要介護度別入居者数・平均介護度

介護度 月 日	3	4	5	介護度	入居者数
7月31日	35	40	15	3.8	90
10月31日	32	40	17	3.8	89
1月31日	28	36	20	3.9	84
3月31日	26	35	24	4.0	85
平均値	30	38	19	3.9	87

※介護度3の減少に反比例する形で介護度5が増加したために平均介護度を押し上げる形となった。

(4) 居住地別入居者数(名)

居住地	川越市内	川越圏域内	県内	県外	合計
男性	11	1	4	2	18
女性	45	1	8	13	67
小計	56	2	12	15	85
割合	66%	2%	14%	18%	100%

(5) 年齢構成(名)

区分	65歳未満	65歳以上 70歳未満	70歳以上 75歳未満	75歳以上 80歳未満	80歳以上 85歳未満	85歳以上 90歳未満	90歳以上	合計
男性	0	2	6	2	3	1	4	18
女性	0	1	2	7	16	16	25	67
小計	0	3	8	9	19	17	29	85
割合	0	4%	9%	11%	22%	20%	34%	100%

※平均年齢：女性 86.8 歳、男性 79.8 歳、平均 85.3 歳

3 安全安心の確保

(1) 防災訓練

月 日	訓練名	内 容
7月 3日	総合防災訓練	消火・通報・避難訓練
5月 11日	資格講習	普通救急救命講習実施
3月 14日	夜間想定訓練	消火・通報・避難訓練・消防署指導

(2) 経過

3月の訓練では、消防署の立ち合いがなく、水消火器を使用した訓練ができなかった。消防署より資料の配布等で代用するようにとの指示があったため、各部署に消火器の使用方法についてのプリントを配布した。

4 在宅サービス

(1) 短期入所生活介護事業 定員10床

月	要支援・要介護度							延べ利用 人数	稼働率 (%)
	支1	支2	1	2	3	4	5		
4月	0	0	21	37	110	54	7	229	76.3
5月	0	0	20	31	141	36	33	261	84.2
6月	0	0	16	14	127	34	27	218	72.7
7月	3	0	41	15	90	48	30	227	73.2
8月	0	0	41	35	109	46	27	258	83.2
9月	0	0	12	21	120	53	47	253	84.3
10月	0	0	10	26	95	51	39	221	71.3
11月	0	0	12	29	82	43	72	238	79.3
12月	0	0	6	35	92	43	70	246	79.4
1月	0	0	15	55	83	37	67	257	82.9
2月	0	0	14	47	74	37	77	249	88.9
3月	0	0	10	37	81	39	77	244	78.7
合計	3	0	218	382	1204	521	573	2,901	
平均									79.5

※昨年度より延べ利用者数が220人分、稼働率6.5%増加している。
要介護度5の利用者が143名から573名と増えている。

(2) 地域密着型通所介護事業 定員10名

月	要支援・要介護度							延べ利用 人数	稼働率 (%)
	支1	支2	1	2	3	4	5		
4月	3	0	31	22	50	19	5	130	65.0
5月	0	0	35	20	71	21	19	166	72.2
6月	0	0	57	23	55	22	23	180	81.8
7月	0	0	57	23	47	29	23	179	85.2
8月	0	0	71	28	59	34	21	213	92.6
9月	0	0	72	22	51	29	27	201	77.3
10月	0	0	60	23	51	24	32	190	71.3
11月	0	0	64	31	56	24	24	199	76.5
12月	0	0	60	31	61	23	22	196	75.4
1月	0	6	58	30	60	20	7	182	67.0
2月	0	0	66	45	61	13	6	191	79.6
3月	0	0	85	53	56	16	16	226	83.7
合計	3	6	716	351	678	274	225	2,253	
平均									77.3

※9月第2土曜日より土曜日営業を開始。延べ利用者数は昨年度より740名ほど増加した。平均利用者数：7.5名/日

5 ボランティア

地域住民を対象とした「オレンジカフェ」を第3木曜日に定期開催し、認知症高齢者を抱える家族やご本人・ボランティアに加え当施設入居者・職員が交流を深めた。また、月2回ボランティアの援助を受け、施設内にアルコールをメニューに加えた喫茶「スプーンハウス」を開店した。その他、音楽を主体とした個人・グループ演奏や絵手紙、将棋・オセロ、傾聴、更に介護業務の一部支援等も含めボランティアを定期的を受け入れている。平成29年度施設へのボランティア登録数は団体7、個人12名となっている。

6 職員研修

(1) OJT(新人研修)

新任職員に対し、担当職員が付き集中的に現場業務と、ユニットケアの基本等を教えた。また、OJT日誌を通して詳細事項を補った。

中途採用者についても一部OJT研修を実施し共通理解を図った。

(2) Off-JT

事故防止・感染症・身体拘束等の必須研修に加え、人材育成を目的とした内容で年間計画を立案し実施した。施設内研修では、主任・主査が研修担当講師となり進めてきた。参加者からは、業務の見直しになった、視点を変えるきっかけとなった等の意見が多く寄せられた。

外部研修については県社協・県老協主催の研修を中心に新採用研修、ユニットケア研修等可能な範囲で参加し、自己研究に努めると共に、施設内において情報の共有に努めた。

7 その他

(1) 実習生

期 日	学校名	実習内容	人数
平成29年6～7月	大川医療福祉専門学校	介護福祉士	3名
8月	滑川総合高等学校	初任者研修	2名
7～11月	明星大、東洋大等	介護等体験	14名

(2) 主な行事の実施状況

月 日	実 施 事 項 等
4月16日	さくらまつり

(3) その他

- ・11月1日川越市中台南自治会と災害時における相互援助に関する協定を締結した。
- ・地域住民による自主的な活動（元気はつらつ体操）への協力として、デイサービスセンターを地域へ開放してきたが、9月よりデイサービスセンターの土曜日開所に伴い、会場を職員食堂へ移動した。30年度も同様に実施する予定である。